



手話言語フォーラム

福島県における デフリンピックへ向けた取組

令和6年10月30日

福島県保健福祉部障がい福祉課

文化スポーツ局スポーツ課



ふくしま応援！
ベコ太郎



福島県
復興シンボルキャラクター
キビタン

福島県手話言語条例（平成31年4月1日施行）



目 的

第一条 この条例は、**手話が言語であるとの認識**に基づき、手話の普及等に関し、基本理念を定め、県の責務並びに県民、ろう者及び事業者の役割を明らかにするとともに、手話の普及等に関する施策の基本となる事項を定めることにより、**県民の手話及びろう者に対する理解の促進**を図り、もって**ろう者及びろう者以外の者が共生することのできる社会の実現**に寄与することを目的とする。

福島県公式YouTubeより



「障がいのある人もない人も共に暮らし
やすいふくしまけん」



「今日から使える手話入門」



福島県で開催されるデフリンピック競技概要について

福島県

東京2025デフリンピック福島県開催について



県内開催の背景

- 福島県では、東京2020パラリンピックの開催を契機とした、障がい者スポーツや共生社会への関心の高まりを持続させるため、令和4年度から重点事業として「**スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト**」を実施し、障がいのある人もない人も一緒にスポーツに親しめる環境づくりを本格化させました。
- 東京2025デフリンピック・サッカー競技のJヴィレッジでの開催について、令和5年4月に（一財）全日本ろうあ連盟からの事業協力依頼がありました。
- 東京都との調整の結果、本県として「**本大会の機運醸成及びおもてなし並びに会場外におけるきこえない・きこえにくい人の情報の保障等に関すること（本県独自の取組）**」を実施することとしました。

東京2025デフリンピック開催概要

開催時期	2025年11月15日～11月26日（全12日間）
想定参加人数	5,000～6,000人（選手3,000人、関係者2,000～3,000人）
競技種目	全21競技（陸上、バスケットボール、バレーボールなど）
競技会場	東京都、 福島県（サッカー@Jヴィレッジ） 、静岡県（自転車競技）
大会名称	第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025 （略称：東京2025デフリンピック）

大会エンブレム

R5.9.3決定



「東京2025デフリンピック」サッカー競技について①



デフ(ろう者)サッカーとは

「デフ」とは英語で「deaf（聞こえない人、聞こえにくい人）」という意味で、デフ（ろう者）サッカーとは、聴覚障がい者のサッカーであり、競技中は補聴器を外すことが義務付けられていることから「**音のないサッカー**」の愛称で呼ばれています。ピッチ上ではアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取っています。

ルール 基本は健常者と同じ

■人数／11人 ■試合時間／45分 ■ピッチサイズ／フルコート

■特徴／聴者と異なる点として、選手は笛の音が聞こえないため、**主審は笛とフラッグ両方使用します。**

国際試合ではさらに両ゴール裏に1人ずつ、合計5人のフラッグを持った審判員が、プレーの停止を多方向から伝えます。



素早いコミュニケーションに注目！

聴者のサッカーと変わらない速さでパスやシュートが繰り返されるデフサッカー。どのように意思疎通を図っているのでしょうか？

聴者のサッカー同様、事前に攻守のプランを練って試合に臨みます。

意思統一を図ることで試合中もスムーズにコミュニケーションができるからです。

試合が始まってからは敵・味方の動きに加え、審判やベンチの様子など**たくさんの情報を視覚で捉えて状況を把握し、ハンドサインやアイコンタクトなどを駆使してコミュニケーションをとります。**

素早いやりとりに注目です。

「東京2025デフリンピック」サッカー競技について②



日本代表の主な戦績 (2023年12月現在)

■男子

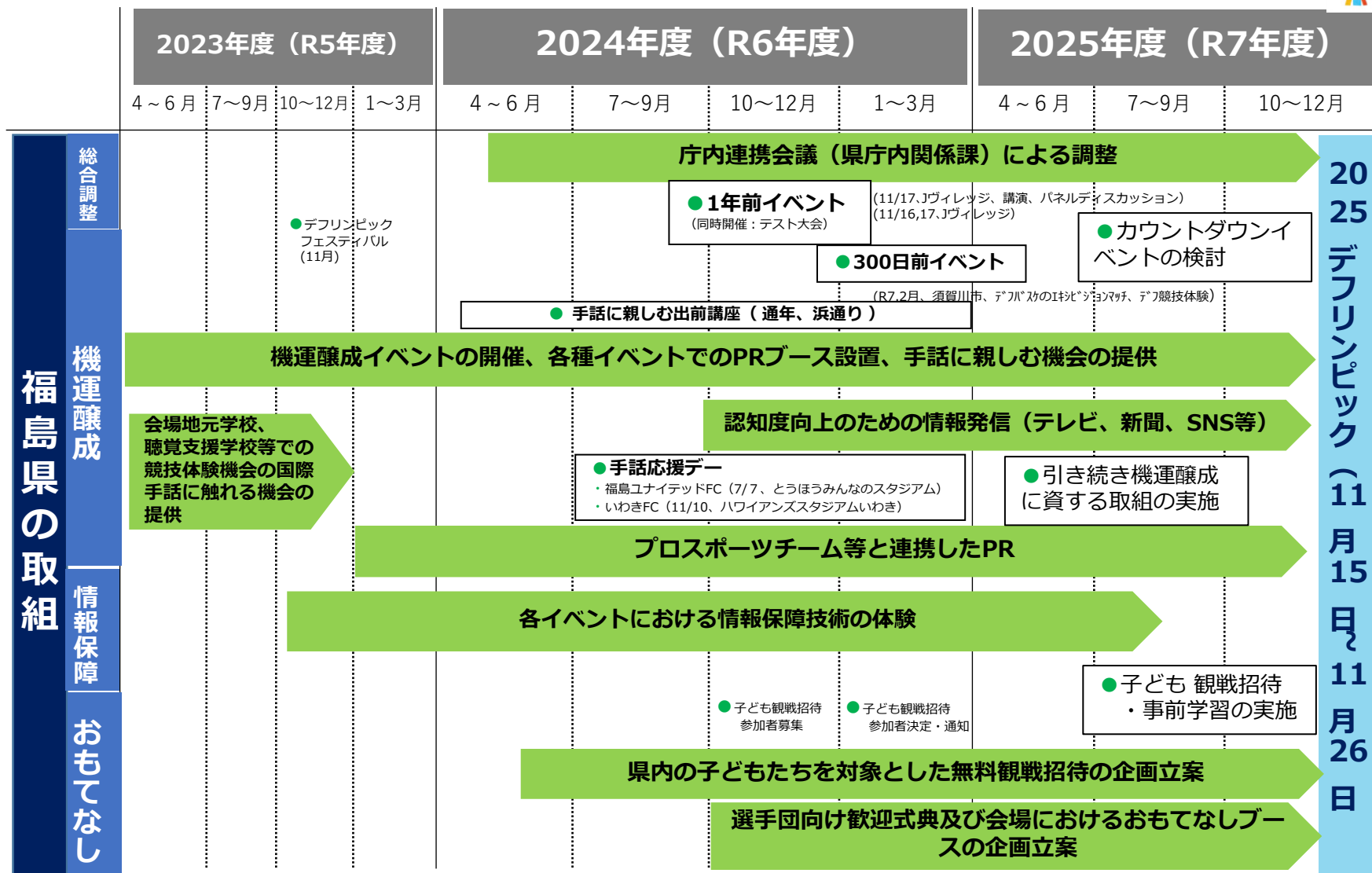
開催年	大会名	成績
2018	第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会 韓国	2位(9か国中)
2023	第4回ろう者サッカー世界選手権大会 デフサッカーワールドカップ 2023 マレーシア	2位(19か国中)

■女子

開催年	大会名	成績
2018	第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会 韓国	1位(3か国中)
2022	第24回夏季デフリンピック2021 ブラジル	4位(5か国中)
2023	第4回ろう者サッカー世界選手権大会 デフサッカーワールドカップ 2023 マレーシア	5位(5か国中)



東京2025デフリンピックまでのロードマップ



「東京2025デフリンピック庁内連携会議」を設置



主旨・目的

令和7年（2025年）に本県Jヴィレッジでサッカー競技が開催される「東京2025デフリンピック」に向け、全庁一体となって大会を推進するため、大会に向けた準備状況等の情報共有及び大会に関連した企画立案を図る庁内の連携体制を構築する。

構成メンバー

【座長】

文化スポーツ局次長

【副座長】

スポーツ課長

【構成員】

関係課 20課

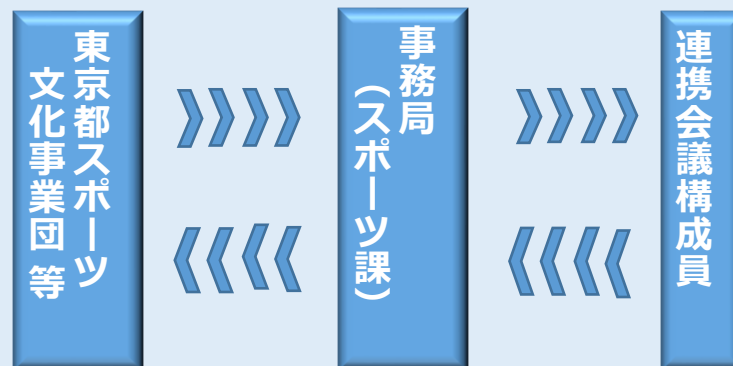


開催方法等

- 設置期間：令和6年4月～令和8年3月
- 会議頻度：2ヶ月に1度程度開催
※大会直前は1ヶ月に1度程度開催

会議内容等

- 大会に向けた準備状況等の情報共有
- 大会本番等での取組への企画立案
- 大会主催者等からの依頼事項に対する対応策の検討・課題の抽出



R6年度の取組



手話応援デーの開催

福島県内のJリーグチームのホーム戦で手話応援デーを開催。

福島ユナイテッドFCの応援歌に合わせた手話応援で会場を盛り上げたほか、手話体験やボッチャ体験、デフリンピックPRのブースを出展。



試合前のピッチを使用したデフサッカー体験教室では、地域の小学生や聴覚支援学校の生徒を対象にデフサッカーの選手と福島ユナイテッドFCの選手がデフサッカーを楽しみました。

11月10日はいわきFCのホーム戦で「手話応援デー」を開催します。

手話に親しむ出前講座



福島県浜通り地域の小中学校を対象に、手話に関心を持ってもらうため「手話に親しむ出前講座」を実施しています。

(一社) 福島県聴覚障害者協会様より講師を派遣いただき、小中学生に手話やデフリンピックに興味を持ってもらえるよう出前授業を行っています。

R6年度の取組



1年前イベント「デフスポふくしま」開催

名 称：東京2025デフリンピック
1年前カウントダウンフェスタ
「デフスポふくしま」

開催日程：令和6年11月17日（日）
10:00～15:00

開催場所：Jヴィレッジ

開催内容：・講演会

～きこえない人ときこえる人をつな
ぐ立場で語る、日常からデフリン
ピックまで～

・トークイベント

～1年後、デフリンピックを100倍
楽しむためのスペシャル座談会～

・デフ&パラスポーツ競技体験 など

東京2025デフリンピック 1年前カウントダウンフェスタ

デフスポふくしま

東京2025デフリンピックを100倍楽しむための
スポーツ × トークイベント

2024.11.17 SUN 10:00-15:00
J-VILLAGE [全天候型練習場・9番ピッチ]

参加無料 申込不要

全日本ろうきんサッカー選手権大会

デフリンピックはきこえないきこえにくい人にとっての最高峰のスポーツ大会です。
2025年11月、日本初開催となる東京2025デフリンピックが東京をメイン会場に
開催されます。21ある競技のうち、サッカー競技が1年後Jヴィレッジで開催される
ことを記念し、カウントダウンイベントを開催します！

講演会
きこえない人ときこえる人をつなぐ立場で
語る、日常からデフリンピックまで
手話通訳士
保科 隼希氏
13:00～13:40
全天候型練習場

トークイベント
1年後、デフリンピックを100倍楽しむためのスペシャル座談会
13:50～15:00 全天候型練習場
「デフリンピックと言われても...きこえないとスポーツするのには関係ない?」そんな疑問を解消しながら、きこえない人ときこえる人のトップアスリート、手話通訳士、知事、様々な立場で、1年後に福島県にやってくるデフリンピックをどう楽しむか、デフリンピックによってどんな福島県になるか考えます。

出演者情報
・キッチンカー
・出店情報
など順次公開!
詳しくはHPをチェック!

デフ・パラスポーツ競技8手話体験
10:00～15:00 全天候型練習場
昔に聞かないようなスポーツをするのか体験
してみよう!今注目のパラスポーツも体験で
きます!さらに1チーム10名程度参加費や会費の協
力による、かんたんに楽しい手話体験もあります!

初心者OK! 1人からOK! デフサッカー デフ卓球
ボッチャ ブラインドサッカー 手話体験

主 催 / 福島県 問合せ / UFB福島支店 福島サテライト
TEL.024-523-3314

300日前 イベント開催!

日付 2025年2月1日(土)
会場 日谷幸吉メモリアルアリーナ
(須賀川市)

R6年度の取組



300日前イベント

プロバスケットボールチームのホーム戦でカウントダウンイベントを実施

開催日程：令和7年2月1日（土）

開催場所：円谷幸吉メモリアルアリーナ
（福島県須賀川市）



開催内容：デフバスケットチームによる
エキシビジョンマッチ
競技体験コンテンツ など



その他の取組

●福島県の広報誌「つながる ふくしま ゆめだより」へ記事掲載



- 福島県ゆかりのデフ選手へのインタビュー掲載
- 福島県のキャラクター「キビタン」と「ベコ太郎」が「東京2025デフリンピック応援隊」に就任 など

その他の障がい者スポーツに関する取組



障がい者スポーツの普及

スポーツに親しめる環境の整備

- 福島県障がい者スポーツ大会の開催
- 障がい者スポーツ指導員の養成
- 出前講座等（講演・パラスポーツ競技体験教室）
- 障がい者（パラ）スポーツ用品の貸出
- 障がい者スポーツに関する各分野の専門的な知識や実戦経験を有するアドバイザーの派遣

など

パラリンピック等競技スポーツへの取組の推進

- 次世代アスリートの強化活動
- 県内競技団体等が行う強化練習会への支援等

